



昭和電工株式会社

## CSRサイトレポート 2018



伊勢崎事業所

# 目次

伊勢崎事業所長 ご挨拶 .....	1
伊勢崎事業所概要 .....	2
無事故・無災害事業所の実現のために	
伊勢崎事業所 環境・安全衛生方針 .....	3
労働安全・衛生 .....	4～5
防災訓練 .....	6
環境保全のために	
環境負荷低減への取り組み .....	7
アルミ缶リサイクル活動 .....	8
PRTR対象物質の排出量 .....	9
地域・社会とのコミュニケーション	
事業所見学の実施 .....	10
地域社会への貢献 .....	11

## 伊勢崎事業所長 ご挨拶

昭和電工株式会社 伊勢崎事業所は1969年(昭和44年)から40年以上に亘りこの地でプラスチックの一つである熱硬化性樹脂の製造を中心に操業を続けて参りました。

これは地域の皆様をはじめとし、多くの皆様のご理解とご支援、ご協力の賜物でございます。改めて心から感謝申し上げます。

現在、伊勢崎事業所で製造しております製品は、テレビ等の液晶モニターを始めとする電子材料部材、建築材料、土木材料、輸送関連部材等様々な生活必需品の中でご使用頂いております。

当事業所におきましては、災害・トラブルは絶対に起こさないという強い意志のもと、「ALL is ゼロ」を実現すべく、防災への各種訓練をはじめ、化学物質の安全な取り扱い、環境負荷の低減等、トラブルを起こさせない様々な活動に取り組んでおります。

また、「お客様に感動頂ける製品・サービスの提供」をスローガンに、より社会を豊かにする製品開発に努めております。地域の皆様に対しましても、常にオープンな事業所を心がけ、安全・安心のご提供により皆様に信頼される事業所を目指します。

また、多くの皆様に当事業所をご理解いただけるよう、工場見学や近隣地域の清掃活動、インターンシップの受け入れ等、様々な活動も積極的に取り組んでまいります。

この「伊勢崎事業所CSRサイトレポート」は、2017年一年間の取り組みと実績についてまとめたものです。皆様に読みやすい、ご理解いただきやすい紙面づくりを心掛けております。このレポートが伊勢崎事業所の諸活動をご理解頂く一助になり、皆様から、率直なご意見・ご要望を頂ければ幸甚でございます。



伊勢崎事業所長 丸山 和浩



# 伊勢崎事業所概要

伊勢崎事業所は、群馬県と埼玉県の県境を流れる利根川に沿って位置する八斗島工業団地に製造拠点を構えて生産活動を行っています。

## □ 伊勢崎事業所の立地



## □ 所在地・敷地面積

所在地	群馬県伊勢崎市 富塚町1019
敷地面積	60,642m <sup>2</sup> 2016年12月31日現在

## □ 伊勢崎事業所の製品

伊勢崎事業所は、不飽和ポリエステル樹脂、ビニルエステル樹脂、アクリル樹脂の製造と開発を行っています。末端製品として一般の方の目に触れるものではありませんが、皆様の日常に欠かせない製品の部材として使用され、社会に貢献しています。

### 《製品使用例》

#### 住宅関連

##### 不飽和ポリエステル樹脂

○ユニットバス



・壁材SMC ペース  
・洗い場裏打ち  
・内面仕切板  
・バスタブ裏打ち

○合併浄化槽



・外殻FRP

#### 自動車関連

##### ビニルエステル樹脂

○ランプリフレクター



・バインダー

#### 電子材料関連

##### アクリル樹脂

○液晶ディスプレイ用カラーフィルター



・バインダー  
・分散剤

##### ビニルエステル樹脂

○プリント基板



・絶縁性保護膜

## 伊勢崎事業所 環境・安全衛生方針

昭和電工株式会社 伊勢崎事業所は、製品の製造・開発において、地球環境への調和と地域との共生を進め、安全・安心で持続可能な社会の形成に貢献すると共に、従業員、協力企業従業員、その他の関係者全ての人々が安全・安心、かつ健康で快適な職場を目指し以下の環境・安全衛生方針を定める。

また、この方針の実現のため、従業員、協力企業従業員、その他の関係者全てが協力し、事業所の環境・安全衛生活動を推し進めていくものとする。

1. 化学製品の設計から物流までの段階で、廃棄物や環境負荷の削減、省資源、省エネルギー等環境保全に配慮した活動に努める。
2. 伊勢崎事業所の活動が環境に及ぼす影響を認識し、継続的な改善と汚染の予防に努める。
3. 職場での安全衛生活動（危険予知、指差呼称、ヒヤリハット、災害水平展開、巡視、5S等）を継続的に改善し、より良い安全衛生文化の醸成に努める。
4. 設備・機械、作業、取扱化学物質のリスクアセスメントを全ての従業員の参画のもと実施し、リスク低減活動を継続的に実施する。
5. 環境、安全衛生に関する法令と事業所規程をよく理解し、遵守する。
6. 作業マニュアル、薬傷防止保護具の完全着用など、決められたルールを守り、不適合があれば現状に即して速やかに見直す。
7. 作業環境測定、健康診断、メンタルヘルス対応、健康相談等を確実に実施し、その結果に基づく作業、および作業環境の改善を推進する。
8. 事業所の環境及び労働安全衛生管理システムを適切に実施・運用して、環境安全衛生管理水準をスパイラルアップする。

この環境・安全衛生方針は、従業員及び関係請負人その他の関係者全てに周知すると共に外部から要請があった場合には、これを開示する。



## 労働安全・衛生

伊勢崎事業所では、『労働災害ゼロ』の実現に向けて、従業員と協力企業従業員が一体となって様々な取り組みを実施しています。取り組みのうち主な活動を紹介します。

### □安全活動

#### (1) リスクアセスメント活動

作業における潜在的な危険性・有害性を抽出し、予防・除去・低減するための活動です。

#### (2) ヒヤリハット活動

ヒヤリとしたりハッとしたりした、ちょっとしたミスや体験を共有し、再発を防止する活動です。

#### (3) 災害水平展開活動

他事業所や協力会社で生じた災害は、職場会議で、原因、対策案、類似作業について話し合い、また、必要に応じて対策を実施し、再発防止に努めています。

#### (4) 安全体感研修

危険な状態、危険な作業を実際に模擬体験することで、危険に対する意識が高くなり、安全に作業することが身につきます。

また、事業所だけでなく、外部機関で模擬体験の研修も行っています。

#### (5) 作業前KY(危険予知)活動

作業開始前に、その作業にどんな危険が潜んでいるかを事前に予測して防止する活動を行っています。

#### (6) STOP(Safety Training Observation Program)活動

危険感受性の向上を図る為、作業中の写真や動画を見て、その作業の安全上で良い点、悪い点を一人ひとり抽出し、グループ皆で討議を行う活動を行っています。

#### (7) 熱中症対策

夏季の作業では作業者の熱中症が懸念されます。WBGT計(暑さ指数計)の設置、予防サポート(教育、水分補給、塩分補給サプリメント)と声掛けで予防しています。



(4)安全体感研修  
反応時のゲル化体験



(6)STOP活動  
STOP活動実施の様子



## □安全祈念行事

過去に発生した事故を風化させないため、毎年、「伊勢崎事業所 安全祈念日」に安全祈念行事を行っています。2017年は6月26日に行いました。



過去の事故の振り返り教育



ヒヤリハット表彰



「安全への思い」伝達教育



「創る安全」教育

## □フォークリフト安全教育



協力企業合同フォークリフト安全教育の様子



無事故・無災害事業所の実現のために

## 防災訓練

伊勢崎事業所は、事業所内での火災や有害物質漏洩等の緊急事態が発生した場合に備え、事故の拡大防止、消防等行政機関への通報、避難を含めた訓練を定期的に行っています。

### □防災訓練

#### (1)5月 流出事故、マスコミ対応訓練



流出事故訓練の様子



マスコミ対応の様子

#### (2)12月 流出事故訓練



流出事故訓練の様子



## 環境負荷低減への取り組み

伊勢崎事業所は、合成樹脂を製造するために、原料・資材、電気・天然ガス等の資源やエネルギーを消費します。

また、生産活動に伴って、排ガス・排水・廃棄物等の環境負荷が発生するため、環境に及ぼす影響を継続的に低減することに取り組んでいます。

伊勢崎事業所は、環境マネジメントシステムを構築し、2003年8月にISO14001認証を取得しています。



BOD: 生物化学的酸素要求量

COD: 化学的酸素要求量

SS : 浮遊物質

環境保全のために

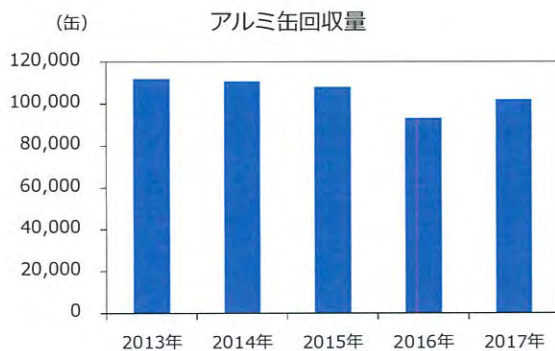
## アルミ缶リサイクル活動

昭和電工グループは、グループ全体でアルミ缶リサイクル活動に取り組んでいます。アルミ缶のリサイクルはアルミ資源の有効活用に加え、アルミニウム製造時の電気使用量も原料鉱石から生産する場合に比べて97%削減することができます。

伊勢崎事業所では、2010年より回収活動を開始し、2013年からは近隣自治会で分別回収される使用済みアルミ缶の回収も開始しました。

得られた収益は社会貢献活動に活用し、自治体への還元や地元の福祉団体などへ寄贈しています。

2017年は、地元の小学校へ熱中症対策用の大型扇風機を寄贈しました。



アルミ缶回収量



事業所で回収されたアルミ缶



地元の小学校へ熱中症対策用  
大型扇風機を寄贈

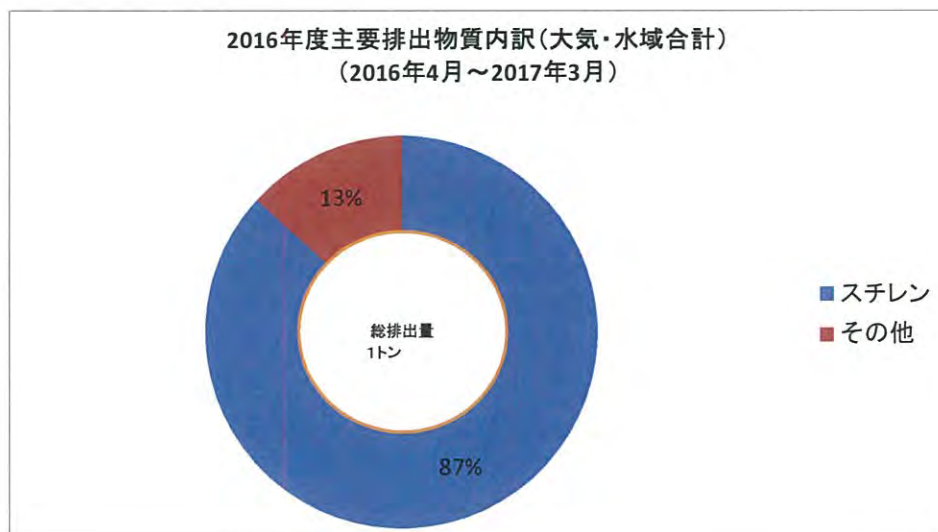


アルミ缶表彰 近隣自治会の方も  
交えて記念撮影



## PRTR対象物質の排出量

伊勢崎事業所では、該当物質（スチレン、トルエン等）の排出量等を把握し、排出量の抑制に取り組んでいます。



## 事業所見学の実施

伊勢崎事業所では、地域の方と従業員の家族に向けて事業所見学会を毎年交互に行っています。

2017年は事業所周辺地域を対象とした事業所見学会を実施しました。  
また、昭和電工KPR※工場見学会を実施しました。

※KPR(KAWASAKI PLASTIC RECYCLE)とは  
使用済みプラスチックを回収し  
ガス化させアンモニアを製造しています。

### □地域見学会



### □KPR工場見学会





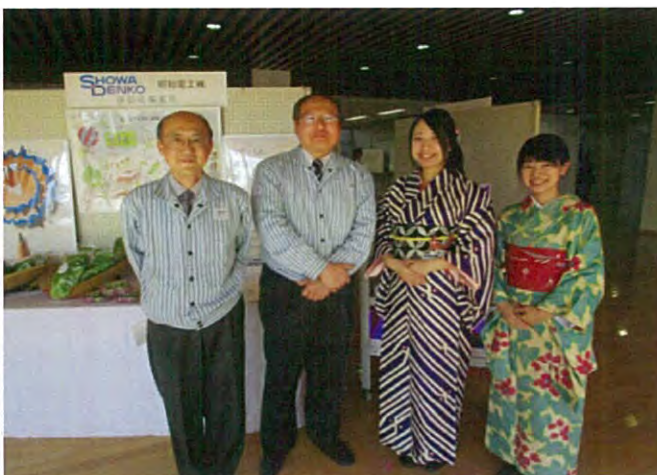
## 地域社会への貢献

□様々なイベントに出展して企業アピール

2017年3月 「いせさき銘仙の日」



いせさき銘仙の日に植物工場を展示



ファッションショーの出演者の方も  
ブースを訪れて下さいました

□菰川をきれいにする会への参加

事業所からの排水は、菰川を經由して利根川へと流れていきます。事業所にとって関わりの深い大切な川です。2013年より、近隣自治体会が主催する「菰川をきれいにする会」の活動に伊勢崎事業所有志が自治会の方々と親睦を深めながら、普段お世話になっている川の清掃活動を積極的に行っています。

菰川をきれいにする会  
有志の除草活動



□事業所納涼祭

伊勢崎事業所はアイカSDKフェノール(株)殿と共催で2017年7月に納涼祭を行いました。近隣住民の方々及び従業員・ご家族・協力企業の方、約400名の方に参加を頂きました。



八斗島民芸保存会の方々に  
八木節を披露していただきました



ビンゴ大会が大盛況です

《本レポートに関するお問い合わせ先 発行元》  
昭和電工株式会社 伊勢崎事業所 総務グループ  
〒372-0833 群馬県伊勢崎市富塚町1019  
TEL:0270-32-1151 FAX:0270-32-1158